

# Housing Market News

2019 vol.2

1|25 ▶ 2|21

東京ガス株式会社  
営業第二事業部<http://biz.tokyo-gas.co.jp>今月の  
トピック解説

TOPIC

## 東京都が家庭の省エネ化に本腰、 エコ住宅などで新制度

東京都は2019年度から新たに省エネ住宅・設備などに関する補助制度を創設、家庭の省エネ化に本腰を入れる。

東京都では、2030年までに家庭部門のエネルギー消費を2000年比で30%削減する目標を掲げているが、そのためには住宅の省エネ化を進めることが必要。そこで、新たに取り組む施策のひとつが、18億円の予算を計上する「東京ゼロエミ住宅導入促進事業」。国で定める省エネルギー基準よりもエネルギー消費量を3割程度削減した高い省エネ性能を満たした「東京ゼロエミ住宅」の新築購入資金を支援する。

補助額は戸建住宅が戸あたり70万円、集合住宅（延床面積2000平米未満・賃貸も含む）が戸あたり30万円。さらに、太陽光発電を設置する場合はkWhあたり10万円も追加補助する。戸建住宅は1500戸、集合住宅は1170戸、太陽光発電は722件に補助を行う予定。2019年度から3年間継続して実施する。

すでに省エネ性能の高い住宅への支援制度として、国のZEH補助制度があるが、Q値やU値などの計算を行う必要がある。木造住宅を供給する中小工務店のなかには、こうした計算手を手間と感じZEHの取り組みに二の足を踏む事業者も多い。このため、「東京ゼロエミ住宅」では木造住宅に限り、建材・設備の“仕様”で申請できるようにしている。例えば、窓の仕様を「窓ラベル4★」、断熱材の仕様を「熱抵抗値R2.3以上」、照明は「全室LED」、空調機の仕様を「省エネラベル4★または5★」としており、Q値やU値の計算を行わなくても「東京ゼロエミ住宅」の申請を行える。

また、45億円の予算を計上し「家庭のゼロエミッション行動推進事業」も創設する。2019年度から2カ年の計画で新たに実施する予定。高効率給湯器、省エネ性能の



3月24日まで、東京都内の住宅展示場で、「東京ゼロエミ住宅」の普及キャンペーンも実施

高いエアコン・冷蔵庫の購入に対し「東京ゼロエミポイント」を付与、ポイントに応じた商品券を送付する。

1ポイント1円で設定し、高効率給湯器には1万ポイント、エアコンには1.2万～1.9万ポイント、冷蔵庫には1.1万から2.1万ポイントを付与。エアコンと冷蔵庫に関しては容量に応じてポイント数を変える。エアコンは13万9000台、冷蔵庫は8万4000台、給湯器は3万4000台へのポイント付与を予定。高効率給湯器はエコジョーズやエコキュートなどを想定、冷蔵庫は統一省エネルギーラベルで5星、エアコンは4星以上満たすことが必要だ。

「家庭におけるエネルギー利用の高度化促進事業」も2018年度から2億円増額した8億円の予算で実施する。家庭用燃料電池や蓄電池等、高効率な創エネ機器等の導入を支援し、家庭のエネルギー消費量削減を推進する。

このほか、新規に7億円の予算を計上し「住宅用太陽光発電初期費用ゼロ促進事業」も実施。リースや電力販売との一体提供、屋根貸しなど、初期費用ゼロで太陽光発電を導入できる新たなサービスを利用して太陽光発電を設置する場合、kWhあたり10万円を補助する。1300件への支援を予定している。

### NEWS

今月の主なニュース

1|25

2|21

- ▶ LIFULL 世界最大の不動産アグリゲーション会社を設立 スペインの子会社を合併
- ▶ YKK AP テラス・バルコニー用の屋根・囲い商品を提案 より充実したアウトドアリビング空間に
- ▶ LIXIL 累計100万台超のベーシック・ドレッサーを一新 取り替えリフォーム工事の現場で役に立つキットを用意
- ▶ パナソニック スピーカー搭載LEDシーリングライトに光と音を一括操作できる新機能を搭載
- ▶ 野村不動産など 横浜市のスマートタウンで5社が協定 先進エネマネなど実施
- ▶ トヨタホーム 狭小対応の戸建て発売 空間を有効活用した提案盛り込む